

## ■感染症科

### 1. 2021 年度の目標

計画① 月当たり 100 例以上の他科入院患者を併診する。電子カルテを有効利用したコンサルテーション業務を実施する。

計画② COVID-19 症例を含め、感染症科が主科の入院患者数を 1 ヶ月あたり 5 名担当する。

COVID-19 の診療にあたり、地域の診療体制を構築し、発熱外来を運営する。

計画③ 抗菌薬適正使用支援チームの運営電子カルテと感染管理システムを利用して効率化を図り、抗菌薬適性使用支援加算を引き続き取得する。(1 入院あたり 100 点)

計画④ 院内および院外に対する感染症講習会を開催する。COVID の流行にあたり ICT を利用した院内講習会を実施する。院内向けの感染症講習会” KAMETEN” の実施、院外向けの” KIND セミナー” を実施する。

計画⑤ 卒後研修センターと連携した研修医教育。ICT を利用した亀田感染症レクチャー、遠隔での院外からの見学生、研修生の受け入れを行う。

計画⑥ 地域感染症疫学・予防センターと協力した院内感染予防対策の実施。院内のアンチバイオグラムにおける MRSA の割合を 30%未満にする。

計画⑦ 職員厚生課と連携した職員感染予防対策の実施。集団接種では看護師による接種などタスクシフティングによる職員ワクチン接種体制を確立する。

計画⑧ 腎移植チームとの連携腎移植患者の感染症症例入院、外来治療を担当する

計画⑨ 京橋クリニックの渡航者外来を渡航者の増加に応じて診察日を再度週 3 日に戻し、契約企業を増やして件数を増加させる。

計画⑩ 感染症科・総合内科コンバインドプログラムの周知を行い、総合内科後期研修医の安定的な確保、感染症フェローの確保に貢献する。

### 2. 2020 年度の評価

計画① 月当たり 100 例以上の他科入院患者を併診する。電子カルテを有効利用したコンサルテーション業務を実施する。

最終実績 月平均 147 例の症例を併診し、年間 1758 例の併診・コンサルト業務を実施した。

計画② COVID-19 症例を含め、感染症科が主科の入院患者数を 1 ヶ月あたり 5 名担当する。COVID-19 の診療にあたり、地域の診療体制を構築し、発熱外来を運営する。

最終実績 主科として、月平均 11 例の症例を担当した。COVID-19 の入院症例を主科として 135 例担当し、発熱外来では 2363 例の診療を実施した。

計画③ 抗菌薬適正使用支援チームの運営電子カルテと感染管理システムを利用して効率化を図り、抗菌薬適性使用支援加算を引き続き取得する。(1 入院あたり 100 点)

最終実績 抗菌薬適正使用チームを運営し、薬剤部、検査部などと連携し、抗菌薬適正使用について 131 例の検討を行い、処方医へのフィードバックを行った。3 ヶ月に一度アンチバイオグラムを更新し、感染管理委員会に提出すると同時に院内に公表した。抗菌薬適正使用加算を取得した。

計画④ 院内および院外に対する感染症講習会を開催する。COVID の流行にあたり ICT を利用した院内講習会を実施する。院内向けの感染症講習会” KAMETEN” の実施、院外向けの” KIND セミナー” を実施する

最終実績 COVID-19 については院内感染対策講習会、その他の機会を利用して知識を共有し、院内の感染対策、個人に対する感染予防の知識、ワクチンの知識を普及・共有した。院内ではKAMETEN、院外に対してはKINDセミナーと称して、感染症診療の講習会をそれぞれ1回ずつ行った。

計画⑤ 卒後研修センターと連携した研修医教育。ICTを利用した亀田感染症レクチャー、遠隔での院外からの見学生、研修生の受け入れを行う。

最終実績 卒後研修センターと連携して、オンデマンド配信ノカタチ亀田感染症レクチャーを行った。院外からの見学、研修生は院内のルールに則り、条件を満たした学生、研修生の受け入れを行った。

計画⑥ 地域感染症疫学・予防センターと協力した院内感染予防対策の実施。院内のアンチバイオグラムにおけるMRSAの割合を30%未満にする。

最終実績 地域感染症疫学・予防センターと協力し、COVID-19を院内に持ち込まない、院内ででんばさせない対策を行った。職員の感染者が出た場合でも二次感染を防ぐことができた。院内のアンチバイオグラムにおいてはMRSAの割合を30%未満にすることはできなかったが、ICCに報告している耐性菌サーベイランスでは、新規MRSA患者の割合20%未満を達成することができた。

計画⑦ 職員厚生課と連携した職員感染予防対策の実施。集団接種では看護師による接種などタスクシフティングによる職員ワクチン接種体制を確立する。

最終実績 〇〇名の職員に対するワクチン接種を行った。職員に対するCOVID-19ワクチン接種を看護師も接種担当者として参加して行った。

計画⑧ 腎移植チームとの連携COVIDにより中止となっているが、再開された際には腎移植前患者全例にワクチン接種を行う腎移植患者の感染症症例入院、外来治療を担当する

最終実績 腎移植予定患者へのワクチン接種を行った。腎移植患者へのワクチン接種については2年目のフェローが講師となり1年目のフェローへのレクチャーを行った。腎移植患者の感染症による入院については腎移植科と享禄して担当し、CMV感染症などの外来治療も担当した。

計画⑨ COVIDにより縮小した京橋クリニックの診察日を再度週3日に戻し、契約企業を増やして件数を増加させる。

最終実績 COVID-19の流行により海外渡航者の減少が回復せず、京橋クリニックの外来は火曜日、木曜日の週2日間を継続した。感染症科からの提案で開始された、海外渡航者のためのCOVID-19PCR陰性証明書・診断書の発行業務は亀田改善アワードを受賞した。

計画⑩ 感染症科・総合内科コンバインドプログラムの周知を行い、総合内科後期研修医の安定的な確保、感染症フェローの確保に貢献する。

最終実績 2022年度応募予定の見学希望者が4名見学に来院した。

### 3. 科の年間活動内容と紹介

#### 4. 2020年度実績

入院診療：年間1893名（参考：2019年度1449名、2018年度1311名、2017年度1296名）

外来診療（クリニック 感染症科外来）：年間9081名

発熱外来（一般受診）：年間2363名（うちPCR実施1806名）

COVID-19院内濃厚接触者検査（発熱外来施行分）：901名

### 5. 学術関係

#### \* 原著論文

著者：高橋芳徳、大澤良介、平良雅克、安藤秀二、細川直登

タイトル：南アフリカ共和国から帰国後に発症した African tick-bite fever の1例

雑誌名：感染症学雑誌, 第95巻, 第2号, 133-136

著者：Ryota Hase, Takashi Kurita, Emiri Muranaka, Hiroki Sasazawa, Haruki Mito, Yudai Yano.

タイトル：A case of imported COVID-19 diagnosed by PCR-positive lower respiratory specimen but with PCR-negative throat swabs.

雑誌名：Infect Dis (Lond). 2020 Jun;52(6):423-426.

著者：Ryota Hase, Rika Kurata, Takashi Kurita, Keiko Ishida, Emiri Muranaka, Haruki Mito.

タイトル：Acute Gouty Arthritis During Favipiravir Treatment for Coronavirus Disease 2019.

雑誌名：Intern Med. 2020 Sep 15;59(18):2327-2329.

著者：Yohei Doi, Masaya Hibino, Ryota Hase, Michiko Yamamoto, Yu Kasamatsu, Masahiro Hirose, Yoshikazu Mutoh, Yoshito Homma, Masaki Terada, Taku Ogawa, Fumihiro Kashizaki, Toshihiko Yokoyama, Hayato Koba, Hideki Kasahara, Kazuhisa Yokota, Hideaki Kato, Junichi Yoshida, Toshiyuki Kita, Yasuyuki Kato, Tadashi Kamio, Nobuhiro Kodama, Yujiro Uchida, Nobuhiro Ikeda, Masahiro Shinoda, Atsushi Nakagawa, Hiroki Nakatsumi, Tomoya Horiguchi, Mitsunaga Iwata, Akifumi Matsuyama, Sumi Banno, Takenao Koseki, Mayumi Teramachi, Masami Miyata, Shigeru Tajima, Takahiro Maeki, Eri Nakayama, Satoshi Taniguchi, Chang Kweng Lim, Masayuki Saijo, Takumi Imai, Hisako Yoshida, Daijiro Kabata, Ayumi Shintani, Yukio Yuzawa, and Masashi Kondo.

タイトル：A Prospective, Randomized, Open-Label Trial of Early versus Late Favipiravir Therapy in Hospitalized Patients with COVID-19.

雑誌名：Antimicrob Agents Chemother. 2020 Nov 17;64(12):e01897-20.

著者：Takashi Kurita, Keiko Ishida, Emiri Muranaka, Hiroki Sasazawa, Haruki Mito, Yudai Yano, Ryota Hase.

タイトル：A Favipiravir-induced Fever in a Patient with COVID-19.

雑誌名：Intern Med. 2020;59(22):2951-2953.

著者：矢野勇大, 倉田理華, 石田景子, 菊池航紀, 栗田崇史, 水戸陽貴, 馳亮太.

タイトル：コンゴ民主共和国から日本に再入国し COVID-19 の健康観察期間中に発症した熱帯熱マラリアの1例.

雑誌名：日本臨床寄生虫学会誌. Vol. 31. p62-64.

著者：Kutsuna S, Suzuki T, Hayakawa K, Tsuzuki S, Asai Y, Suzuki T, Ide S, Nakamura K, Moriyama Y, Kinoshita N, Hosokawa N, Osawa R, Yamamuro R, Akiyama Y, Miyazato Y, Nomoto H, Nakamoto T, Ota M, Saito S, Ishikane M, Morioka S, Yamamoto K, Ujiie M, Terada M, Nakamura-Uchiyama F, Sahara T, Sano M, Imamura A, Sekiya N, Fukushima K, Kawana A, Fujikura Y, Sano T, Suematsu R, Sakamoto N, Nagata K, Kato T, Katano H, Wakita T, Sugiyama H, Kokudo N, Ohmagari N.

タイトル：SARS-CoV-2 Screening Test for Japanese Returnees From Wuhan, China, January 2020.

雑誌名：Open Forum Infect Dis. 2020 Jun 20;7(7):ofaa243. doi: 10.1093/ofid/ofaa243. PMID: 32754627

\* 学会・研究会発表

発表者：石田景子

タイトル：SSTI

発表日：2020年8月22日

イベント名：2020年度 第5回亀田感染症（KIND）セミナー

発表者：菊池 航紀

タイトル：手術部位感染症

発表日：2020年8月22日

イベント名：2020年度 第5回亀田感染症（KIND）セミナー

発表者：津山 頌章

タイトル：B細胞急性リンパ性白血病の化学療法中に認められた *Neisseria elongata* 菌血症の一例

発表日：2021年1月29日

学会名：第32回日本臨床微生物学会総会・学術集会

発表者：藤井 元輝、窪田 佳史、新山 優、青木 沙弥佳、植田 秀樹、吉田 明人、細川 直登、渡 智久、大塚 喜人

タイトル：Broad-range PCR法によって同定された *Veillonella parvula* による椎体椎間板炎の一例

発表日：2021年1月30日

学会名：第32回日本臨床微生物学会総会・学術集会

発表者：大澤良介

タイトル：新型コロナウイルス感染症の診療について

発表日：2020.5.21

イベント名：千葉県夷隅医師会セミナー

発表者：大澤良介

タイトル：移植感染症科医の視点からのCOVID-19対応

発表日：2020.8.18

イベント名：移植医療Webセミナー2020

発表者：大澤良介

タイトル：シンポジウム「レクチャーとケースで学ぶ深在性真菌症の臨床」侵襲性アスペルギルス感染症

発表日：2020.10.10

学会名：第64回日本医真菌学会総会・学術集会

発表者：大澤良介

タイトル：新型コロナウイルス患者の宿泊療養

発表日：2020. 10. 23

イベント名：日本医師会 COVID-19 有識者会議Web に寄稿

発表者：大澤良介

タイトル：COVID-10 対策委員会報告 移植感染症科医の視点からの COVID-19 対応

発表日：2020. 11. 17

学会名：第 56 回日本移植学会総会

発表者：大澤良介

タイトル：肺外結核の診かた

発表日：2020. 12. 13

イベント名：IDATEN winter seminar 2020 online

発表者：大澤良介

タイトル：パネルディスカッション「免疫不全患者の感染症のエキスパートが検査室に臨むこと」固形臓器移植

発表日：2021. 1. 29

学会名：第 32 回日本臨床微生物学会総会・学術集会

発表者：大澤良介

タイトル：移植感染症科医の視点からの COVID-19 対応

発表日：2021. 2. 18

学会名：第 54 回日本臨床腎移植学会総会

発表者：大澤良介

タイトル：造血幹細胞移植患者を診療する施設の COVID-19 の危機管理

発表日：2021. 3. 7

学会名：第 43 回日本造血細胞移植学会総会

発表者：高橋芳徳、大澤良介、平良雅克、安藤秀二、細川直登

タイトル：南アフリカ共和国から帰国後に発症した African tick-bite fever の 1 例

発表日：2021 年 1 月 29 日

学会名：第 32 回日本臨床微生物学会総会・学術集会

発表者：三石一成、伊藤博之、本間雄也、窪田紀彦、谷口順平、吉見倫典、大槻歩、高橋芳徳、大澤良介、細川直登、中島啓

タイトル：RFP、INH 投与でアナフィラキシーショックとなったが、ICU 管理下で RFP の急速脱感作療法が成功した 1 例

発表日：2021 年 2 月 13 日

学会名：第 179 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会、第 243 回日本呼吸器学会関東地方会 合同学会

発表者：菊池 航紀, 大澤 良介, 細川 直登, 原田 壮平

タイトル：高病原性肺炎桿菌による前立腺膿瘍、肝膿瘍に対しセファゾリンで加療中に、多発脳膿瘍を呈した1例

発表日：2020年11月6日

イベント名：第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会

発表者：菊池 航紀

タイトル：尿路感染症 診療の極意

発表日：2020年12月12日

イベント名：IDATEN ウィンターセミナー 2020

発表者：松田直也

タイトル：*Leclercia adcarboxylata* と *Enterobacter cloacae* が胆汁培養から検出された急性胆管炎の1例

発表日：2021年1月29日

学会名：第32回日本臨床微生物学会総会・学術集会

学会・研究会発表

発表者：新山 優

タイトル：再発性菌血症を伴った fishbone cholangitis の1例

発表日：2020年11月6日

学会名：第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会

発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症

発表日：2020年4月17日

イベント名：日本医科大学千葉北総病院連携カンファレンス

発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症 COVID-19 update

発表日：2020年5月25日

イベント名：印西総合病院連携セミナー

発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症 COVID-19 update

発表日：2020年7月20日

イベント名：新八街病院連携セミナー

発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症 COVID-19 update

発表日：2020年7月27日

イベント名：成田病院連携セミナー

発表者：馳 亮太

タイトル：外来における静注抗菌薬の使い方と OPAT

発表日：2020年8月21日

イベント名：第94回日本感染症学会学術講演会

発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症 COVID-19

発表日：2020年8月22日

イベント名：亀田KINDセミナー

発表者：馳 亮太

タイトル：COVID-19 と感染対策

発表日：2020年9月14日

イベント名：日本航空社内勉強会

発表者：馳 亮太

タイトル：日常生活における COVID-19 対策

発表日：2020年10月15日

イベント名：千葉県医師会医学会 第21回学術大会

発表者：馳 亮太

タイトル：プライマリケア医のための COVID-19 診療アップデート

発表日：2020年12月5日

イベント名：第142回北総医学会

発表者：馳 亮太

タイトル：外科医のための COVID-19 対策アップデート

発表日：2021年3月6日

イベント名：第89回千葉県外科医会

発表者：笹澤 裕樹, 岡崎 逢子, 松田 直也, 津山 頌章, 大澤 良介, 関口 真央, 渡 智久, 大塚 喜人, 細川 直登

タイトル：*Staphylococcus argenteus*による菌血症、術後縦隔炎の1例

発表日：2021年1月29日

学会名：第32回日本臨床微生物学会総会・学術集会

\* 講演

発表者：菊池 航紀

タイトル：あらゆる感染症のための標準予防策

発表日：2020年5月

イベント名：ICT研修会（院内感染対策講演会）

発表者：大澤良介

タイトル：新型コロナウイルス感染症の診療について

発表日：2020.6.19

イベント名：千葉県いすみ医療センター感染対策講習会

発表者：大澤良介

タイトル：観光業のための新型コロナウイルス感染症対策

発表日：2020.8.19

イベント名：千葉県いすみ市新型コロナウイルス感染症勉強会

発表者：大澤良介

タイトル：新型コロナウイルスとインフルエンザの診療

発表日：2020.11.11

イベント名：鴨川国保病院でのセミナー

発表者：馳 亮太

タイトル：スポーツ関係者のためのCOVID-19対策アップデート

発表日：2021年3月6日

イベント名：第11回千葉県サッカー医科学研究会

発表者：馳 亮太

タイトル：知っておきたいCOVID-19の基礎知識

発表日：2020年12月7日

イベント名：千葉県看護協会研修

発表者：馳 亮太

タイトル：事例検討

発表日：2020年12月6日

イベント名：トラベラーズワクチン講習会

発表者：馳 亮太

タイトル：COVID-19対策 ～院内クラスター発生を防ぐ～

発表日：2020年12月14日

イベント名：東千葉メディカルセンター令和2年度第2回感染対策研修会



発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症への備え方 ～with コロナ時代を健やかに過ごすために～

発表日：2020年10月18日

イベント名：成田赤十字病院公開健康講座

発表者：馳 亮太

タイトル：COVID-19 アップデート

発表日：2020年10月27日

イベント名：成田市郡医師会講演会

発表者：馳 亮太

タイトル：COVID-19 アップデート

発表日：2020年11月6日

イベント名：印旛市郡医師会病院連絡協議会

発表者：馳 亮太

タイトル：成田赤十字病院におけるCOVID-19対策 ～トリアージ・発熱外来編～

発表日：2020年11月20日

イベント名：日本赤十字社感染管理室長会議

発表者：馳 亮太

タイトル：COVID-19と感染対策

発表日：2020年9月30日

イベント名：船橋市立医療センター院内感染対策講演会

発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症について知っておきたい基礎知識

発表日：2020年10月8日

イベント名：成田市役所避難所担当職員対象研修会

発表者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症 感染経路、感染対策

発表日：2020年4月19日

イベント名：千葉県庁主催ホテル療養開始に伴う成田市住民説明会

\* その他

商業誌への寄稿

著者：藤井元輝

タイトル: Journal club 2 Normal respiratory flora as a cause of community-acquired pneumonia.

雑誌名: J-IDEO

巻: 5:

号: 1

開始頁: 143

終了頁: 143

著者: 高橋芳徳

タイトル: (第24回) J-IDEO Journal club 「3 Effect of preemptive therapy vs antiviral prophylaxis on cytomegalovirus disease in seronegative liver transplant recipients with seropositive donors : a randomized clinical trial. 」

雑誌名: J-IDEO

巻: 5:

号: 1

開始頁: 144

終了頁: 145

著者: 新山優

タイトル: (第24回) J-IDEO Journal club 「4 Compression therapy to prevent recurrent cellulitis of the leg. 」

雑誌名: J-IDEO

巻: 5:

号: 1

開始頁: 145

終了頁: 145

著者: 窪田佳史

タイトル: (第24回) J-IDEO Journal club 「5 Contact isolation versus standard precautions to decrease acquisition of extended-spectrum  $\beta$ -lactamase-producing Enterobacterales in non-critical care wards : a cluster-randomised crossover trial. 」

雑誌名: J-IDEO

巻: 5

号: 1

開始頁: 146

終了頁: 147

著者: 津山 頌章

タイトル: (第24回) J-IDEO Journal club 「6 Integration of FDG-PET/CT in the diagnostic workup for Staphylococcus aureus bacteremia : a prospective interventional matched-cohort study. 」

雑誌名: J-IDEO

巻：5

号：1

開始頁：147

終了頁：147

著者：松田直也

タイトル：(第24回) J-IDEO Journal club 「7 Two weeks versus four weeks of antibiotic therapy after surgical drainage for native joint bacterial arthritis : a prospective, randomised, noninferiority trial. 」

雑誌名：J-IDEO

巻：5

号：1

開始頁：148

終了頁：148

著者：石田景子

タイトル：(第24回) J-IDEO Journal club 「8 HPV vaccination and the risk of invasive cervical cancer. 」

雑誌名：J-IDEO

巻：5

号：1

開始頁：149

終了頁：149

著者：村中絵美里、細川直登

タイトル：リレー連載「駆け出し感染症内科医のClinical Questions - 調べたことは共有して、みんなで賢くなろう -」

雑誌名：J-IDEO

巻：5

号：1

開始頁：24

終了頁：26

著者：松田直也

タイトル：リレー連載「駆け出し感染症内科医のClinical Questions - 調べたことは共有して、みんなで賢くなろう -」

雑誌名：J-IDEO

巻：5

号：2

開始頁：284

終了頁：286

著者：石田景子

タイトル：リレー連載「駆け出し感染症内科医のClinical Questions - 調べたことは共有して、みんなで賢くなろう -」

雑誌名：J-IDEO

巻：5

号：3

開始頁：477

終了頁：478

著者：馳 亮太

タイトル：新型コロナウイルス感染症でまず知っておきたい基礎知識は？

雑誌名：インфекションコントロール 新型コロナウイルス対策 Q&A 68

巻：2021 年春季増刊

号：4976

開始頁：P. 30

終了頁：P. 31

著者：馳 亮太

タイトル：PCR 検査とは？偽陽性や偽陰性があるってホント？

雑誌名：インфекションコントロール 新型コロナウイルス対策 Q&A 68

巻：2021 年春季増刊

号：4976

開始頁：P. 30

終了頁：P. 31

著者：馳 亮太

タイトル：COVID-19 の抗原・抗体検査とは？

雑誌名：インфекションコントロール 新型コロナウイルス対策 Q&A 68

巻：2021 年春季増刊

号：4976

開始頁：P. 30

終了頁：P. 31

著者：新山 優、細川 直登

タイトル：特集「ER・ICU での薬の使い方 2021-’ 22 -エキスパートが実践する秘訣(コツ)-」各論 II. 呼吸関連「Q11. 結核」

雑誌名：救急・集中治療

巻：32

号：3

開始頁：678

終了頁：685

○商業誌への寄稿

著者：新山 優

タイトル：J-IDEO Journal club 「4 Compression therapy to prevent recurrent cellulitis of the leg.」

雑誌名：J-IDEO

巻：5

号：1

開始頁：145

終了頁：145

著者：笹澤裕樹

タイトル：小児期からの移行期医療を实践しよう！各診療の場での移行期医療 病院(病棟・救急)での対応

雑誌名：治療 (Journal of Therapy)

巻：103

号：4

開始頁：416

終了頁：420

著者：笹澤裕樹, 山藤栄一郎

タイトル：第5章 医師指示・カルテ記載

雑誌名：総合内科マニュアル 第2版 著者八重樫 牧人 (監修), 佐藤 暁幸 (監修), 亀田総合病院 (編集)

開始頁：34

終了頁：40

学会等へのパネリスト、アドバイザー参加

大澤良介

2019. 2- (昨年度からの継続です)

日本移植学会 COVID-19 対策委員会

アドバイザー

大澤良介

2020. 8-

消防庁 救急隊の感染防止対策ワーキンググループ

委員

大澤良介

2021. 1. 29

第 32 回日本臨床微生物学会総会・学術集会

パネルディスカッション「現場支援のレベルアップ：臨床推論を学ぼう！」

座長

大澤良介

2021. 5. 7-9

第 95 回日本感染症学会学術講演会/第 69 回日本化学療法学会総会合同総会

プログラム委員